

非常用 持ち出しリスト

災害時に備えた、非常用の持ち出し品をまとめたものです。
万が一に備え、家族で話し合い、準備しておくようにしましょう。



※ここに紹介するのは、あくまで非常用持ち出し品ですので、家庭の事情に合わせて、必要な物を追加しましょう。

紀宝町の避難場所一覧

浅里	瀬原	北檜杖	高岡	鮎田	成川	神内	鵜殿	井田
川文班消防車庫	飛雪の滝キャンプ場	瀬原公民館	北檜杖多目的集会施設	高岡防災センター	鮎田構造改善センター	成川高台	神内小学校(体育館)	井田公民館
		北檜杖小学校跡避難場所	北檜杖多目的集会施設	高岡防災センター	上地多目的集会施設	就業改善センター	飯盛多目的集会施設	井田小学校(体育館)
					成川防災備蓄倉庫	成川高台	神内小学校(体育館)	井田公民館
							はぐくみの森	ウミカメ公園(物産館)
							神内福祉センター	下り場集落センター
							鵜殿ふれあい会館	
							福祉センター	
							鵜殿小学校(体育館)	
							まなびの郷	
							鵜殿体育館	
							防災拠点施設	
							役場本庁舎	
							上野農事集会所	
							井田小学校(体育館)	
							井田公民館	

避難所開設の注意点

- ・災害の種類や規模によっては避難場所が使用できない場合もあります。
- ・開設した避難所は、随時、防災無線でお知らせします。
- ・避難所までの移動が危険なときは、2階以上の安全を確保できる高さに移動する垂直避難などを行い、安全を確保してください。

地震・津波時 洪水時 洪水時(一時避難場所)

桐原	平尾井	井内	大里
桐原生活改善センター	高野者生産活動センター	井内青年クラブ	ふるさと資料館
		リサイクルセンター	田代体育館
		相野谷小学校(体育館)	中高年齢者就業改善施設
		津本防災センター	大里多目的集会施設
		相野谷中学校(体育館)	相野谷中学校(体育館)

避難とは、「難」を「避ける」ことです。

小学校や集会所などの避難所に行くことだけが避難ではありません。安全な親戚や知人宅へ移動する、ハザードマップで安全であることが確認でき、また非常用持ち出し品の備えが十分である場合は自宅の安全な場所にいることも避難となります。

災害時の3つの助け

災害への備えを考えると、**「自助」「共助」「公助」**の3つに分けられます。

まず「自助」とは、災害が発生したときに、自分自身の身の安全を守ることで、このなかには家族も含まれます。

次に「共助」とは、町内会や学区などの範囲内における地域コミュニティで災害発生時に力をあわせることをいいます。

そして、「公助」とは、国や県、市町村、警察、消防、自衛隊といった公的機関による救助・援助をいいます。災害時には、これらの連携が不可欠となってきます。一人ひとりが、「自分の命

は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を持ち、日ごろから避難場所を確認することや上記の非常用持ち出し品を準備するなど、災害に備えておくことが大切です。



公助

町の防災・減災対策

町では、住民のみなさんに災害情報を迅速に伝えるために、防災無線や町防災情報システムなどを通して情報を発信しています。災害時には情報を得ることが不可欠ですので、自分の命を守るために活用してください。また、防災情報はTwitterでも発信しているので、紀宝町防災情報 "@bosai_kiho" への登録をお願いします。

大規模災害時では公助(行政、警察、消防、自衛隊、医療機関)の機能に限界があります。平時から、自助・共助を意識し、大規模災害に備えましょう。



共助

地区防災訓練への参加

災害時、自分や家族の安全を確保した後、近所や地域の方々と助け合いができるように、地区の防災訓練に参加してみませんか。地域の被害を少しでも減らすため、地域が一つとなって「もしも」の災害への備えをしておきましょう。



自助

防災情報の入手

上記にある非常用持ち出し品や避難所の確認を徹底することはもちろんですが、災害時に正確な情報を得ることも大切です。町からの防災情報は町防災メールや防災無線などで随時お知らせしています。また、大雨による災害発生危険度を地図上で分かりやすく表示した情報が、気象庁HPで確認できます。「キキクル」で検索するか、右のQRコードからご確認ください。



早めの避難を心がける



総務課防災対策室 鈴木 大司 室長

町では、平成23年の紀伊半島大水害の経験を教訓とし、少しでも減災ができるよう、平成27年に事前防災行動計画「タイムライン」を策定しました。

これは災害が発生するまでの事前段階に行くべき防災行動を「いつ」「だれが」「何を」するか定めた行動計画のことです。

みなさんも日ごろから、いつ、どこに避難し、何を持っていくかを確認しておいてください。一人ひとりが「自分の命は自分で守る」という意識を持つことで、減災につながります。